



# 草原やさいだより



No.3  
2006年2月発行  
阿蘇草原再生シール  
生産者の会事務局  
〒869-2225  
熊本県阿蘇市黒川 1180  
阿蘇自然環境事務所内  
Tel : 0967-34-0254  
http://www.aso-sougen.com  
/producer/

## 阿蘇草原再生協議会に 参加しました。

二 五年一月二日、阿蘇草原再生協議会が正式に発足しました。  
この協議会は、地域の様々な団体や個人が参加、連携して阿蘇草原環境の保全に向けて取り組んでいくことを目的としています。  
設立にあたっては、一 三名に及ぶ参加者が集まりましたが、本会もメンバーの一員として加わることになりました。今後は、野草資源小委員会にも参加して、野草を利用した農産品生産による草原環境保全への貢献をアピールするとともに、関連団体などとの連携を図り、会の活動の展開につなげていきたいと思えます。

## 秋のキャンペーン販売 結果報告

平成一七年一月一六日(水)、一月二五日(金)の二回、熊本市内の熊本県観光物産交流スクエア「かたらんね」(テトリアくまもと)で、阿蘇草原再生シールを貼った農産物のキャンペーン販売を行いました。準備段階で二回の会合を行い実施体制や価格設定などを検討。夏のキャンペーン販売の経験を生かして、集荷から販売まで生産者が主体的に行い、野草を使って育てた新鮮な野菜の販売とともに阿蘇草原再生のピーアールに努めました。  
出荷者は八名、当日は四名づつ二日間で七名が参加。ダイコン、ハクサイ、シユンギク、サトイモなど二十種あまりを販売し、一六日は五万八千円、二五日は七万二千円の売り上げがありました。

お客さんへの声かけやレジ管理も馴れてきて、売ることの難しさを実感する反面、消費者と直に話をするのが楽しく勉強になるといふことで、次年度もさらに活動を展開していくことが期待されます。



## 財)阿蘇グリーンストック企画 「冬の贈り物」販売

一月下旬～二月にかけて、阿蘇グリーンストックが企画するお歳暮産直商品として草原再生シールの会野菜セットを販売。宅配産直は、会として初めての取り組みでした。注文数は8件と振るいませんでしたが、今後もPRの方法や窓口の拡大など継続の方策を考えていきたいと思えます。

- ・ 出荷者/四名
- ・ 出荷品目/一四品目詰め合わせ  
(大根、白菜、ニンジン、春菊、ネギ、ブロッコリー、ホーレンソウなど)
- ・ チラシ、メッセージを同封

- ・ 販売価格/2600円  
(送料込み、地域によって追加料金)

## 第3回理事会報告

去る一月二日、総会開催に向けて第三回理事会を行いました。  
まず、会の運営について、会計年度を一月一日～二月三十一日とし、農家の作業に比較的時間があり集まりやすい2月に定期総会を開催することを決定。あわせて、規約やシール利用規則の見直しについて検討を行いました。  
また、イベント販売をはじめ平成一七年に行った活動を振り返り、一八年の活動展開に向けて検討を行いました。

理事会における協議結果は、二月十日の第一期定期総会において会員の皆さんに諮り決定していきます。また、今後のイベント販売など、一八年の活動内容については、意見交換を重ねながら具体的に検討し、計画的に実施していく予定です。

### これまでの取り組みを振り返って・・・

- 役員からは次のような意見が出されました。
- ・ 賞味期限の表示などを含め、消費者との信頼関係を築くことが大切。
  - ・ より多くの会員がイベント販売に参加するよう呼びかけたい。
  - ・ 阿蘇に来る人に、草原をアピールしながら販売できないか。
  - ・ 阿蘇の直売所への日常出荷のなかでイベント的に販売できないか。
  - ・ 規模は小さくても会の趣旨を理解してくれる人に定期的に販売するなど、得意先をつくる方向に展開してはどうか。

<お知らせ>



販促用CDができました

草原再生シールを貼った野菜の販売促進用のCDを作りました。軽快な音楽をバックに、さわやかな女性の声で、シールを貼った野菜を買って阿蘇草原再生に参加するよう呼びかけています。販売場所として繰り返し流すことで、お客さまにシールの意味を伝え、阿蘇の草原再生について関心を持っていただくことの手助けになればと思います。イベント販売会場や直販所、小売店で利用していただくため、無料で配布していますので、CDご希望の方は事務局までご連絡ください。

ナレーション

「雄大なみどりのうね。風にそよぐ草花。阿蘇の草原は地球の宝です。みどりのシールは、阿蘇の草で育てられた野菜のしるし。草原の草を肥料にしているから、美味しく、とても安全なんです！阿蘇の草原は、草が利用されないと、荒れてしまいます。草を刈り、利用することで、草原は生き返るのです。野菜を食べて阿蘇の草原を守りましょう！」

こんなところにもシール野菜が届けられています

特別会員の力丸裕さんは、自身のネットワークを活用して、会員のみなさんが生産した野菜を、会の趣旨に賛同いただいた植木町の大型スーパーや熊本市内のレストランに卸しています。

力丸さんが野菜を届けているお店

- スーパー入船市場（鹿本郡植木町）毎週土曜日開催
- レストラン IL・GIARDINO（熊本市花畑町）イタリア料理
- レストラン MASA'S DINER（熊本市小沢町）アメリカ&ハワイ料理

H17年8月以降入会の会員を紹介します！

渡辺政則さん



春は野焼き、秋は採草と草原の維持に努めております。毎年よい力ヤが採れるようにこれからも草原を守ってまいります。

野上寛史さん



野草利用は365日かせません。野草も使い方一つで色々な事ができます。そんな草原を、ずっと守ってまいります。

小島信仁さん・加代子さん



最近は放牧される牛が減少し、原野も荒れ果てようとしています。少しでも草原を維持していけるよう取り組んでまいります。

笹原由美子さん



自家で採草した野草を利用して、ミニトマトやイチゴなどを生産しています。野草たい肥を利用すると甘みが違います。

会員募集！

阿蘇草原再生シール生産者の会では、会員を募集しています。会員には、生産者会員、特別会員、賛助会員の三区別があります。

生産者会員

会の目的に賛同し、会のルールのもと野草を利用して農産物を生産する生産者。年会費1000円。

特別会員

会の目的に賛同し、シールを貼った農産物の販売・流通を進めようとする企業団体、個人。年会費3000円。

賛助会員

会の目的に賛同する企業、団体、個人。年会費一口3000円（一口以上）。詳しくは生産者の会事務局まで。



<やさい☆まめ知識>

大根



冬は大根がおいしい季節。大根は、古代エジプトの記録に残るほど古くから食され、日本へは奈良時代に中国から伝わったと言われています。

葉にはビタミンやミネラルが豊富に含まれ、根の部分にはでんぷん分解酵素アミラーゼが含まれているため、消化を促進して胃もたれや胸やけに効果があります。生食をはじめ、煮物、酢の物、炒め物、汁物などの料理のほか、たくあんや切干し大根などの加工品としても親しまれています。

阿蘇でも、秋から冬にかけて家々の軒先に細長く切った大根干しをみかけます。切干し大根用に大根に切り込みを入れ、短冊状に長くつなげたもので、1本の大根が1メートル前後になることもあります。日に当たる面積を少しでも広くし、手早く乾燥させるための生活の知恵だそうです。